

研修責任者等研修事業 都道府県名（ 兵庫県 ）
 （実地指導者研修）

I. 研修の開催に関すること

1. 研修開催場所の箇所数 （ 2 ）箇所
 2. 研修開催場所の選定にあたって考慮したこと

兵庫県は面積が広いので、東～中央の拠点、西の拠点としてアクセスのよい開催場所を選定した

3. 研修開催回数 延べ（ 7 ）回

II. 研修受講者に関すること

1. 研修受講者数等(実人員)
 （開催回別に記入してください）

開催回	応募者数	受講者数
第1回	（ 128 ）名	（ 128 ）名
第2回	（ 79 ）名	（ 79 ）名
第3回	（ 51 ）名	（ 51 ）名
第4回	（ 148 ）名	（ 148 ）名
第5回	（ 60 ）名	（ 60 ）名
第6回	（ 69 ）名	（ 69 ）名
第7回	（ 116 ）名	（ 116 ）名

* 延べ人数で記載

※ 必要な場合、行を追加してご記入ください

2. 研修受講者の所属施設

施設種別	応募者数	受講者数
病院	（ 217 ）名	（ 217 ）名
診療所	（ 0 ）名	（ ）名
助産所	（ 0 ）名	（ ）名
介護老人保健施設	（ 0 ）名	（ ）名
指定訪問看護事業所	（ 0 ）名	（ ）名
その他 （ ）	（ 0 ）名	（ ）名

3. 研修受講者のうち、病院の場合の病床規模

許可病床数	受講者数
100床未満	18
100～200未満	81
200～400未満	84
400床以上	34

4. 研修受講者の職位

職位	人数
看護部長	(0)名
看護副部長	(0)名
師長	(0)名
係長・主任	(22)名
スタッフ	(164)名
無回答	(31)名

アンケート結果より集計

※ 職位が貴県での区分と異なる場合には、貴県での区分に変更したうえで、ご記入ください

5. 研修の受講資格・選考基準等(施設類型や職位等による基準を設けているか否か等についてご自由にご記入ください)

受講要件として、「自施設で実地指導者研修を実施していない施設で、実地指導者の役割を担っている者」とした。
しかし、実際は要件に合わない看護師から数多く応募があった。
今回は、実地指導者研修の初年度ということもあり、選考はせず、申込み者全てを受入れた。

6. 事業の周知及び参加者募集方法(ご自由にご記入ください)

- ・年度初めに県と合同で事業(研修内容含む)の説明会を実施
- ・送付文書にて、事業の研修案内と申込みを実施
- ・兵庫県看護協会のHPIにも事業の全研修を掲載

Ⅲ. 研修内容に関すること

1. 受講形式

A 全日程を受講することを基本としたコース形式

B 講義毎に部分的に受講する形式

2. 研修プログラム

時期 (月)	研修テーマ	時間数	研修内容・方法
8月	人材育成と実地指導者の役割	6時間	講義 ・人材育成の考え方 ・実地指導者の役割 ・新人看護職員研修の概要 ・看護基礎教育の現状 ・新人看護師の技術習得状況 ・新人看護職員研修ガイドラインの読み解き
9月 同内容を2回開催	新人看護職員の学習支援	6時間 ×2	講義・グループワーク ・新人看護職員の特性 ・成人学習論 ・教育方法について ・研修プログラムの企画・立案、指導案の作成 ・グループダイナミクス
10月	新人看護職員へのメンタルサポートと実地指導者のストレスマネジメント	6時間	講義・グループワーク ・円滑な人間関係構築のためのコミュニケーション技術 ・コーチング・アサーティヴネス ・指導対象者、同僚、上司など各々との良好なコミュニケーションとは ・メンタルサポートとは ・ストレスマネジメントの理解と対処方法
11月 同内容を2回開催	安全な看護技術の指導方法	6時間 ×2	講義・グループワーク ・看護技術指導における目標設定と評価について ・医療安全と看護技術
2月	実地指導者として実践をリフレクションする	6時間	講義・グループワーク ・受講者同士での意見交換からリフレクションを実施 ・指導の基礎であるコミュニケーションの見直し

※ 行が不足した場合、適宜追加してご記入ください

※ 時期には実施月をご記入ください。

3. 講師数(実人員)

看護職員： ①看護教員(講師、教授など大学の教員も含む) (1)名
 ②臨床現場の看護職員 看護部長、副看護部長、看護師長 (1)名
 施設の教育担当者(教育責任者等) (1)名
 専門看護師・認定看護師 ()名
 その他 (1)名

その他の職種： 職種等(県看護協会 専務理事) (1)名
 職種等() ()名
 職種等() ()名

4. 1回の研修にかかる日数および時間数(日数、時間数の両項目に記載願います)

(1. でBと回答した場合には、1クールの総日数・時間数を回答願います)

(7)日 (42)時間

5. 4. の内訳 講義 (38) 時間 演習 (4) 時間
その他 () () 時間 オリエンテーション () 時間

IV. 事業の評価等に関すること

1. 事業の実施にあたって工夫した点(自由にご記入ください)

- ・実地指導者研修は今年度より開始となり、多くの申込み者を予想した。そのため、研修内容では、より多くの実地指導者が受講できるように、講義中心の内容とし、講師に依頼した。
- ・上記でも受講者数により、研修実施が困難な場合に限り、同内容を2回開催し、申込み者全員が受講できるように配慮した。
- ・グループワーク中心の研修に関しては、同施設が重ならないようにグループ編成をし、多くの他施設からの情報を得られるようにした。
- ・新人看護職員研修ガイドラインに基づいた研修内容にしたが、実地指導者としての自己を振り返る機会を持てるように、研修の最後のテーマにリフレクションを取り入れた。

2. 事業の効果および評価に関すること(自由にご記入ください)

- ・各施設の実地指導者として応募をしたが、要件に当てはまらない受講者もいた。より効果的な研修を受講してもらうためにも、次年度は要件の徹底を図りたい。
- ・自施設での研修実施が目的であるが、「集合研修をやっているから受講すればいい」という考え方が増えているのは事実である。そのような施設に対しての働きかけのためにも、受講要件を徹底したい。
- ・多人数の受講であったためか、受講者のレディネスに大きな差があった。実地指導者としての役割を担うことへの責任や意欲の差と思われる。受講後のアンケートにも、「指導なんてやりたくない」などの記述も見られる。そのような実地指導者への働きかけに関する内容が不足していたように思え、また、実地指導者を支援する教育担当者・研修責任者に対しても、実地指導者の現状などの情報提供から効果的な支援方法の内容を加えるべきであった。

V. 事業の委託に関すること

1. 事業の委託 A 委託していない B 委託している 委託先(兵庫県看護協会)